

令和7年度 事業報告

I. 公益関係事業

(1) 税制税務に関する研修会・説明会

開催日	研修会名	会場	参加人数
令和7年4月4日	決算法人説明会	秋田テルサ	90名
4月4日	新設法人説明会	〃	8名
6月25日	決算法人説明会	秋田県青少年交流センター	6名
6月25日	新設法人説明会	〃	1名
9月11日	所得税の基礎控除等セミナー	イヤタカ	34名
11月14日	年末調整説明会	秋田テルサ	197名
12月12日	決算法人説明会	イヤタカ	46名
12月12日	新設法人説明会	〃	12名
令和8年2月6日	税についての総合研修会	〃	32名

(2) 児童・生徒に対する税の啓発活動

イ. 租税教室（青年部会）

※秋田地区租税教育推進協議会の構成団体として、青年部会が講師を務め各小学校6年生を対象に、税の大切さ、税の使われ方などを指導した。

開催日	学校名	児童数	講師
令和7年 7月10日	秋田市立 寺内小学校	52名	(講師) 佐々木幹事 石黒直前部会長
7月14日	〃 上北手小学校	41名	(講師) 小助川幹事 (見学) 石和田部会長
7月17日	〃 牛島小学校 (クラスごと2回)	48名	(講師) 伊藤副部会長 石黒直前部会長 (見学) 石和田部会長
令和8年 1月20日	〃 東小学校	83名	(講師) 石黒直前部会長 伊藤副部会長 佐々木幹事 (見学) 石和田部会長

開催日	学校名	児童数	講師
1月21日	〃 御所野小学校	86名	(講師) 石黒直前部会長 (見学) 石和田部会長 松本副部会長 丸野内部会員

ロ. 税に関する絵はがきコンクール (女性部会)

※当会の管内全小学校31校に対して、「税」に関する自分の思いや考えを「絵」と「短い文章」で表現する「税に関する絵はがきコンクール」を開催。下記のとおり15校から628通の応募があった。応募作品は11月26日に審査会を開催し、入賞作品に対して表彰状と図書カードを贈呈したほか、応募者全員に法人会グッズ(多機能ボールペン)を贈呈。

応募作品の全てを秋田駅ぼぼろ一どに展示したほか(1月22日～2月5日)、入賞作品は確定申告期に申告会場に展示され、現在秋田南税務署内に展示されている。

※ 応募校 並びに 応募枚数

	学校名	応募枚数
1	秋田市立 寺内小学校	21
2	〃 泉小学校	76
3	〃 東小学校	72
4	〃 牛島小学校	2
5	〃 築山小学校	61
6	〃 旭北小学校	34
7	〃 八橋小学校	23
8	〃 広面小学校	88
9	〃 御所野小学校	86
10	〃 上北手小学校	30
11	〃 仁井田小学校	74
12	〃 大住小学校	1
13	〃 浜田小学校	1
14	〃 岩見三内小学校	5
15	〃 河辺小学校	11
	計	628

※税に関する絵はがきコンクール優秀作品（秋田南法人会 女性部会 入賞作品）

賞	小学校名	税に関する標語
最優秀賞	牛島小学校 古室 あおいさん	税で暮らしを支えよう (東北六県連へ推薦)
秋田南税務署長賞	広面小学校 長谷川 稀玲さん	くらしを守りまちを彩る税
優秀賞	河辺小学校 伊藤 叶さん	税金は優しいくらしを支える地面 (東北六県連へ推薦)
〃	広面小学校 吉川 彩寧さん	一人一人の税で誰かの命が救われる
〃	広面小学校 辻 優芽さん	身近なところにも税がある！！
〃	広面小学校 佐藤 愛来さん	税金は思いやりのかたち
〃	御所野小学校 児玉 愛桜さん	一緒に未来をつなごう！ 税から広がる笑顔のくらし
〃	旭北小学校 木林 優渚さん	あなたの税がくらしをつくる
〃	八橋小学校 加賀谷 光里さん	1人の税がみんなを幸せに
〃	東小学校 加沢 萌彩さん	税金でみんなを笑顔に！
〃	泉小学校 鈴木 陽向さん	幸せは税のおかげでできている！！

ハ. 税を学ぶ親子イベント 「税金ウルトラクイズ & キッズステージ2026」 (青年部会)

開催日 令和8年 1月 25日 (日)

場 所 秋田拠点センター「アルヴェ」 きらめき広場

※ 子供に税の大切さを楽しみながら知っていただき、家庭で税について親子で話し合う時間をもつきっかけにさせていただくことを目的に、「税金ウルトラクイズ」を2回開催。クイズ参加者は延べ157名。

秋田市立四ツ小屋小学校の吹奏楽部、児童によるダンスなど集客イベントも行う。クイズの1位にはタブレット端末、2位・3位には図書カード(2位 10,000円分・3位 3,000円分)を贈呈したほか、参加者全員には500円分図書カードを贈呈。同会場では、秋田南税務署によるe-Taxのマスコット「イータクン」着ぐるみが出演しイベントを大いに盛り上げた。

(3) 拡大税制委員会

令和7年5月26日(月) イヤタカ

※当会理事・監事まで対象を拡大し、令和8年度税制改正要望についての意見交換

(4) 税制提言活動

公益財団法人全国法人会総連合の「令和8年度税制改正に係る提言書」に基づき、当会の武田税制委員長が秋田県、秋田県議会、衆参両議員に対して以下の提言活動を行った。

(秋田県連主管)

提言の内容は下記のとおり。(一部抜粋)

1. 法人税関係

(1) 役員給与の損金算入の拡充

①役員給与は損金算入とすべき

現行制度では、役員給与の損金算入の取り扱いが限定されており、特に年度途中の報酬等の改定には厳しい制約が課せられている。役員給与は、本来、職務執行の対価であり、原則損金算入できるよう見直すべきである。

②同族会社も業績連動給与の損金算入を認めるべき

経営者の経営意欲を高め、企業経営に活力を与える観点から、中小企業にも対応が可能なコーポレートガバナンス(企業統治)を高める措置を講じることを条件に、同族会社における役員の業績連動給与についても損金処理を認めるべきである。

(2) 中小企業向け賃上げ促進税制の適用要件緩和

中小企業向け賃上げ促進税制について、経営環境が厳しい中小企業の持続的な賃上げを支援する観点から、適用要件の緩和や制度を拡充すること。

(3) 中小企業の欠損金繰戻還付制度の見直し

米国の相互関税政策の影響は先行き不透明であり、中小企業の資金繰りを支援する観点から、繰戻しできる期間を事業年度開始の日前1年以内から3年以内に見直すとともに、制度を本則化すること。

2. 所得税関係

(1) 基幹税としての所得再分配機能の回復

所得税は重要な基幹税の一つであるが、各種控除の拡大などによって空洞化が指摘されている。所得再分配機能を回復するためにも、所得税は国民が能力に応じて適正に負担すべきである。

(2) 各種控除制度の見直し

令和7年度税制改正では、物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整への対応として、基礎控除や給与所得控除の最低保障額の引き上げ、特定親族特別控除の創設等が行われた。各種控除は社会構造変化に対応して合理的なものに見直す必要があるが、合

計所得金額に応じた基礎控除の上乗せ特例が恒久措置、または時限措置として創設されるなど、控除制度が複雑となり、源泉徴収や年末調整を担う企業の事務負担の増加は確実である。今後も物価の上昇等を踏まえて基礎控除等の額を適時に引き上げることとしているが、企業の事務負担等に配慮した簡素な制度とすべきである。なお、退職所得控除の見直しも検討されているが、老後の生活設計を妨げることにつながるとともに、特に中小企業の人材確保や労働意欲を高める観点から、控除の縮小は行うべきではない。

(3) 個人住民税の均等割

地方税である個人住民税の均等割についても、応益負担原則の観点から適正水準とすべきである。

3. 相続税・贈与税関係

(1) 相続税の基礎控除の見直し

被相続人1人に対する法定相続人の数は減少傾向(平成15年3.40→令和4年2.68)にある。また、基礎控除の引き下げや地価の上昇により相続税の課税件数割合が平成27年の8.0%から令和5年は9.9%と高水準に達していることから、基礎控除のあり方を見直す必要がある。さらに現行の相続税の課税方式(法定相続分課税)は、相続人の相続額に応じた課税がされず、一人の相続人の申告漏れが他の相続人にも影響する等の問題が指摘されており、課税方式のあり方についても併せて検討することが必要である。

(2) 贈与税の基礎控除の引き上げ

経済の活性化に資するよう、贈与税の基礎控除を引き上げる。なお、教育資金や結婚・子育ての一括贈与に係る贈与税の非課税措置については、適用状況等を勘案しながら、制度のあり方を見直すべきである。

4. 地方税関係

(1) 固定資産税の抜本的見直し

令和7年の全国の公示価格は、全用途平均・住宅地・商業地とも4年連続で上昇し、上昇率が拡大している。都市計画税と合せて評価方法および課税方式を抜本的に見直すべきである。また、固定資産税は賦課課税方式であり、納税者自らが申告するものではないことから、制度に対する不信感も一部見受けられる。地方自治体は、税の信頼性を高めるための努力が必要である。

- ①商業地等の宅地を評価するに当たっては、より収益性を考慮した評価に見直す。
- ②家屋の評価は、経過年数に応じた評価方法に見直す。
- ③償却資産については、納税者の事務負担軽減の観点から、申告対象外となる「少額資産」の範囲を国税の中小企業の少額減価償却資産にまで拡大するとともに、賦課期日を各法人の事業年度末とする。
- ④固定資産税の免税点については、平成3年以降改定がなく据え置かれているため、大幅に引き上げる。

⑤国土交通省、総務省、国税庁、都道府県がそれぞれの目的に応じて土地の評価を行っているが、行政の効率化の観点から評価体制は一元化すべきである。

(2) 事業所税の廃止

市町村合併の進行により課税主体が拡大するケースも目立つ。事業所税は固定資産税と二重課税的な性格を有することから廃止することを求める。なお、廃止されるまでの間は、賃上げにより税負担が増えないよう、従業者割の計算に際しては配慮すべきである。

(3) 超過課税

住民税の超過課税は、個人ではなく主に法人を課税対象としているうえ、長期間にわたって課税を実施している自治体が多い。課税の公平を欠く安易な課税は行うべきではない。

(4) 法定外目的税

法定外目的税は、税の公平性・中立性に反することのないよう配慮するとともに、税収確保のために企業に対して安易な課税は行うべきではない。

5. その他

(1) 印紙税の廃止

印紙税については、電子取引の拡大や手形決済の省略など、取引慣行の変化に伴い、課税根拠が希薄化している。文書作成の有無による課税は公平性を欠くとともに、事務負担を軽減させる観点からも廃止すべきである。

(2) 配当に対する二重課税の見直し

配当については、現行の配当控除制度で法人税と所得税の二重課税の調整が行われているものの不十分であり、さらなる見直しが必要である。

(3) 電子申告の促進

国税電子申告（e-Tax）と地方税の電子申告（eLTAX）の利用件数は年々拡大してきているが、制度の一層の利便性向上と、システムの連携または一体化すること等により、さらなる促進を図ること。

(4) 森林環境税の検証

森林環境税は、森林環境譲与税として地方自治体に配分されるが、その配分方法や税が有効に活用されているか等についてしっかり検証することを求める。また、多くの府県でも森林環境の保全等を目的とした個人住民税の超過課税が実施されていることから、目的や用途の違いを住民に分かりやすく説明するとともに、森林環境税と同様に制度の検証を行う必要がある

(5) 経営支援活動（経営・会計に関する研修会）

開催日	研修会名	会場	参加人数
令和7年4月9日	新入社員セミナー	イヤタカ	44名
7月29日	年収の壁 対策セミナー	秋田県青少年交流センター	32名
12月11日	カスタマーハラスメント対策セミナー	〃	60名

(6) 広報活動

1. デジタル化推進のためのe-Taxを利用したダイレクト納付、スマホ申告の利便性などの周知・広報
2. 適格請求書保存方式（インボイス制度）導入に関するチラシ配布
3. マイナンバーカードの取得推進、e-Tax利用推進等のパンフレットの配布
4. 新聞・ホームページを利用した税情報の配信、研修会・セミナー等の開催周知
5. 全法連広報誌「ほうじん」の配布4回
6. 確定申告期における各種税情報のPR
7. 年末調整事務に関する冊子の配布
8. 法人会「自主点検チェックシート」の利用推進

(7) 記念講演会

1. 講師 國學院大學 特別専任教授 ^{うえの} 上野 ^{まこと} 誠 氏
演題 「歴史に学ぶ生き方 — 万葉びととの対話 —」
日時 令和7年5月15日（木） 午後3時～
場所 秋田キャッスルホテル
2. 講師 落語家 ^{かつら} 桂 ^{ぶんきょう} 文喬 氏
演題 「笑いはたっぷり、商売はしっかり
— 落語的発想の転換 —」
日時 令和7年11月11日（火） 午後3時～
場所 秋田キャッスルホテル

II. 共益・収益関係事業

(1) 会員・役員

会員 会員数 1,502社（令和8年3月31日現在）
役員 理事 42名（会長1名、副会長4名）
監事 3名（うち外部監事1名）

※令和7年度定時総会において外部監事1名を選任し法人のガバナンス強化に努めている。

(2) 福利厚生制度の加入状況

(令和8年3月末日現在)

制度	会員数	加入数	加入率%	前年比	引受会社
経営者大型保障制度	1,502社	254社	16.9%	-5社	大同生命保険(株) AIG 損害保険(株)
ビジネスガード	〃	211社	14.0%	+3社	AIG 損害保険(株)
がん保険制度	〃	189社	12.6%	-7社	AFLAC
医療保険制度	〃	106社	7.1%	-3社	AFLAC

(3) 表彰関係(敬称略)

1. 第56回 優良経理担当者表彰

受彰者 豊島英子 (公財) 秋田県総合保健事業団
 草薨司 富士フイルムBI秋田(株)
 鈴木友子 (株) 秋田クボタ

2. 福利厚生制度推進担当者表彰

受彰者 大同生命保険(株) きた東北支社 秋田営業部
 第一営業課 虻川文子
 〃 藺藤なつみ
 AIG 損害保険(株) 秋田支店
 代理店 (株) ケツアール
 代表取締役 加藤隆志
 〃 (株) ツーウェイ・コミュニケーション
 代表取締役 佐々木ひとみ
 アフラック生命保険(株) 秋田支社
 代理店 田村道子

3. 福利厚生制度マスター制度表彰

受彰者 大同生命保険(株) きた東北支社 秋田営業部
 第一営業課 進藤聖良
 〃 進藤佳江
 AIG 損害保険(株) 秋田支店
 代理店 (株) ケツアール
 代表取締役 加藤隆志
 秋田支店 児玉威吹

4. 会員増強運動表彰

受彰者 大同生命保険（株）きた東北支社 秋田営業部

第一営業課 進藤 聖良

(4) 令和7年度 会員大会

日時 令和7年11月11日（火）

場所 秋田キャッスルホテル

- (1) 記念講演会
- (2) 第56回優良経理担当者表彰
- (3) 秋田南税務署長 納税表彰式
- (4) 秋田南税務署から税の講話

III. 管理関係

諸会議の開催

(1) 親会関係

会議名	開催日	会場	案件
監査会	R7. 4. 17	法人会事務局	・令和6年度事業報告、決算諸表の監査
第1回 理事会	4. 23	イヤタカ	・令和6年度事業報告承認の件 ・令和6年度収支決算書承認の件 ・任期満了に伴う役員改選の件 ・法人会福利厚生制度の推進について
令和7年度 定時総会	5. 15	秋田キャッスルホテル	・令和6年度事業報告・収支決算承認の件 ・任期満了に伴う役員改選の件 ・福利厚生制度推進担当者表彰
第2回 理事会	5. 15	〃	・正副会長選任の件
正副会長会議	6. 23	橘	・今後の事業活動について ・事務局職員の賞与について
第3回 理事会	R8. 3. 25	ホテルメトロポリタン秋田	・令和8年度事業計画（案）承認の件 ・令和8年度収支予算（案）承認の件 ・令和8年度定時総会招集の件

(2) 青年部会

会議名（行事名）	開催日	会場	内容
第1回 役員会	R7. 5. 22	イヤタカ	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度事業報告、収支報告について・令和7年度事業計画、予算見込について・令和7年度租税教育活動について・役員改選について・令和7年度青連協合同研修会について
定時報告会	6. 30	イヤタカ	<ul style="list-style-type: none">・健康経営研修会・令和6年度事業報告、収支報告について・令和7年度事業計画、予算見込について・役員改選について・卒業部会員への記念品贈呈
役員会	8. 22	イヤタカ	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度青連協合同研修会について (担当：秋田南法人会 青年部会)
役員会	12. 17	イヤタカ	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度租税教育イベントについて・令和7年度租税教室について
租税教育イベント 打合せ会・新年会	R8. 1. 19	大昌園	<ul style="list-style-type: none">・租税教育イベントの開催について
租税教育イベント 直前打合せ会	1. 25	秋田拠点センター アルヴェ	<ul style="list-style-type: none">・同イベントの詳細について打合せ

(3) 女性部会

会議名（行事名）	開催日	会場	内容
定時報告会	R7. 7. 7	秋田キャッスルホテル	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度事業報告、決算報告について・令和7年度事業計画、予算見込みについて・役員改選について
税に関する絵はがき 募集活動	6. 1～ 11. 30	管内全小学校	<ul style="list-style-type: none">・税に関する絵はがきコンクールの説明 並びに募集活動
税に関する絵はがき 審査会	11. 26	秋田キャッスルホテル	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度税の絵はがきコンクール審査

会議名（行事名）	開催日	会 場	内 容
税に関する絵はがき 展 示	R8. 1. 22～ 2. 5	ぽぽろーど	・税に関する絵はがきコンクール 全応募作品の展示
新年懇談会	2. 13	津ねや	・税に関する絵はがきコンクール 審査結果報告等

（４） 会議出席等

会 議 名	開催日	会 場	出 席 者
アフラック推進会議	R7. 4. 8	ホテルメトロポリタン秋田	石黒前厚生委員長
全法連 事務局長会議	4. 11	東京・全法連会館	今野事務局長
全法連 理事会	5. 27	〃	藤井前会長
租税教育推進協議会 総会	5. 27	秋田南税務署	今野事務局長
全法連 青連協定時連絡協議会	6. 4	東京・明治記念館	石黒全青連副会長 石和田青連協会長
県法連 税制委員会	6. 5	ホテルメトロポリタン秋田	武田税制委員長
県法連 理事会	6. 10	〃	石黒会長ほか9名
県法連 定時総会	6. 10	〃	石黒会長ほか13名
全法連 理事会	6. 16	東京・帝国ホテル	石黒会長
税務関係団体協議会 総会	6. 16	イヤタカ	今野事務局長
六県連 理事会	6. 18	仙台・国際ホテル	石黒会長
県法連 青連協部会長会議	7. 3	ホテルメトロポリタン秋田	石和田青連協会長 石黒顧問
六県連 女連協代表者会議	7. 10	〃	竹島協議会長
六県連 事務局長会議	7. 17	AIG 仙台ビル	今野事務局長
県法連 女連協部会長会議	7. 18	ホテルメトロポリタン秋田	竹島協議会長
県法連 女連協役員会	7. 18	〃	竹島協議会長ほか3名
全法連 厚生委員会	7. 23	東京・全法連会館	長谷川厚生委員長

会 議 名	開催日	会 場	出 席 者
全法連 税制委員会	7.25	東京・全法連会館	武田税制委員長
六県連 青連協代表者会議	7.25	ホテル青森	石黒全青連副会長 石和田青連協会長
全法連 総務委員会	7.31	東京・全法連会館	石黒総務委員
全法連 健康経営委員会	8. 1	リモート出席	進藤健康経営委員長
全法連 組織委員会	8. 5	東京・全法連会館	平川組織委員長
全法連 事務局長会議	8.27	〃	今野事務局長
全法連 青連協役員会	9. 2	リモート出席	石黒全青連副会長
県法連 事務局職員研修会	9. 5	能代・プラザ都	事務局職員 2 名
アフラック推進会議	9. 9	アトリオ多目的ホール	長谷川厚生委員長
六県連 事務局長会議	9.12	大同生命仙台支社	今野事務局長
全法連 女連協情報交換会	9.18	札幌パークホテル	竹島女連協会長
全法連 女性フォーラム（北海道大会）	9.18	〃	竹島女連協会長ほか 3 名
全法連 理事会	9.26	東京・全法連会館	石黒会長
県法連 女連協合同研修会	10. 3	湯沢グランドホテル	竹島女連協会長ほか 5 名
全法連 全国大会（高知大会）	10.16	高知・県民文化ホール	石黒会長、平川副会長
租税教室講師養成研修会	10.22	秋田南税務署	石和田部会長ほか 3 名
全法連 青連協役員会	10.23	リモート出席	石黒全青連副会長
県法連 青連協合同研修会	10.24	秋田県立美術館ほか	石和田部会長ほか 1 2 名
税務関係団体協議会 例会	11. 6	イヤタカ	武田副会長・今野事務局長
全法連 青連協連絡協議会	11.20	甲府・県民文化ホール	石黒全青連副会長 石和田青連協会長
全法連 全国青年の集い部会長サミット	11.21	甲府記念日ホテル	石黒全青連副会長 石和田青連協会長
全法連 全国青年の集い（山梨大会）	11.21	アイメッセ山梨	石和田青連協会長ほか 8 名
県法連 税の絵はがき審査会	11.26	秋田キャッスルホテル	竹島女連協会長

会 議 名	開催日	会 場	出 席 者
六県連 会長懇談会	11.27	仙台・東洋館	石黒会長
六県連 会長会議	11.28	仙台・国際ホテル	石黒会長
六県連 会長サミット・運営協議会	11.28	〃	石黒会長ほか3名
六県連 女性部会代表者会議	12. 1	ホテルトポリアン仙台	竹島女連協会展長
六県連 税の絵はがきコンクール審査会	12. 1	〃	竹島女連協会展長
全法連 事務局長会議	12. 5	東京・全法連会館	今野事務局長
秋田卸センター 新年会	R8.1.16	秋田キャッスルホテル	石黒会長
県法連 事務局職員研修会	1.16	〃	事務局職員2名
全法連 青連協役員会	1.20	東京・全法連会館	石黒全青連副会長
全法連 新年賀詞交歓会	1.21	東京・帝国ホテル	藤井顧問・石黒会長
全法連 事務局セミナー	1.26	東京・ハイアットリージェンシー	今野事務局次長
六県連 事務局長会議	2. 4	アフラック仙台支社	今野事務局長
税務協力団体協議会 例会	2. 9	イヤタカ	石黒会長・今野事務局長
全法連 厚生委員会	2.12	東京・全法連会館	長谷川厚生委員長
全法連 税制セミナー	2.16	東京・ハイアットリージェンシー	武田税制委員長
全法連 税制委員会	2.17	東京・全法連会館	武田税制委員長
全法連 組織委員会	2.20	〃	平川組織委員長
六県連 青連協代表者会議	2.20	仙台・事務局会議室	石黒全青連副会長 石和田青連協会展長
全法連 DX推進会議	2.25	東京・全法連会館	石黒総務委員
全法連 健康経営委員会	3. 4	リモート出席	進藤健康経営委員長
全法連 総務委員会	3. 5	〃	石黒総務委員
全法連 理事会	3.18	東京・全法連会館	石黒会長
県法連 理事会	3.25	ホテルトポリアン秋田	石黒会長ほか8名